

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年8月19日
所属学部	教育学部
所属学科・専攻	小学校教員養成課程社会科選修

1. 留学先について

留学先大学名	トルコ共和国立アクデニズ大学			
留学先所属学部等	教育学部			
留学期間	出発日 2014/9/1	入学日 2014/8/16	修了日 2014/2/1	帰国日 2015/3/12
住居	<input type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()			
	通学時間	はじめの寮は学内、次のアパートは30分ほど、その次は1分ほどです。		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩、バス		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 80 %	学食 %	外食 20 %	その他 % () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	OSSMA海外保険		
	大学指定の保険(名称)	特になし		<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウイスコンシン(電車)			
	成田 ⇄ イスタンブール(飛行機) ⇄ アンタルヤ(飛行機)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	52万円	円	* おおよそでかまいません。		
出処					
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他 0 円
援助	<input type="checkbox"/> 両親	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他 0 円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	8万	円	<input type="checkbox"/> その他名称()	56万 円
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	5万	円	<input type="checkbox"/> その他()	5万	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()			

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	払っていません
住居にかかった費用	寮は管理センターで現金払い、アパートは友人と一括での支払いのため、現金。
その他	

2-3. 内訳

* 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	円		10万	円
海外旅行保険	円		7万	円
OSSMA	円			円
査証・在留許可証	リラ	200リラ	1万	円
住居	リラ	光熱費込で2000リラ	10万	円
食費	リラ	2500リラ	15万	円
通学に要する交通費	リラ	60リラ	3000	円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (国内旅行費)	リラ	1500リラ	7万5000	円
その他 (雑費)	リラ	240リラ	12000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 ***必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。**

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無
1 Program geliştirme	正規		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
2 Öğretim ilke ve yöntemleri	正規		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
3 Yabancıların Türk dili ve Edebiyatı öğretimi	正規		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4 Eğitim bilimi geliştirme	正規		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
5 日本語初級	聴講		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
6			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

*登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

基本的には千葉大同様、インターネットを通して登録可能だが、留学生には大抵別枠で授業が用意されているため、選択肢に必修科目が現れず、所属学部の学務に申請という形式。また、授業科目の選択に関しては、基本的にあらかじめ用意された、一般の学生よりも時間がやや長い授業が必修になっていたが、希望すればどの授業も受講可能かつ、教員が認めれば、単位も出るという形式だった。（“Eğitim bilimi geliştirme”（教育科学の発展）と「日本語初級」（他学部）は希望して受講した。）

3-2. 授業内容、方法に関して

基本的に教育学部において、留学生が自分だけだったということもあり、個別に授業を設けるというよりは、既存の授業を一般の学生と一緒に受講し、成績評価に関わるテスト類のみ別に用意するという形式の授業がほとんどだった。そのため、内容はすべてトルコ語で進行したが、板書をそれなりにしていただいていたので辞書を引いてなんとかついていく、という感じでした。はじめはかなり戸惑いましたが、クラスメイトができた上、トルコ語の能力もかなり伸びたので良かったと思います。

3-3. 語学力について

トルコ語に関してはあらかじめあまり勉強せずに留学したので、渡航当初は英語を主に使って生活していましたが、授業がはじってみると、トルコ語漬けの毎日がはじまったので、最終的には期末の発表をトルコ語で行ったり、トルコ語しか話せない友人とルームシェアをしたりするうち、トルコ語しか使わなくても日常生活はなんとかなる程度まで上達したと思います。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は利用したことがないのでわかりません。学内は2つの小さな商店街（スーパーやカフェ、レストラン、郵便局、理髪店など）と3つの学食があり、充実していると思います。また、プロのサッカーチームのスタジアムが教育学部の目の前にあり、シーズン中は外部からの人で溢れるそうです。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

日本人の学生はメブラーナプログラムの使用者という扱いで留学することになると思いますが、学生寮は基本短期留学生には解放しておらず、はじめはいかに住居を確保するかが問題になります。自分ははじめ、期限付きで寮に入れてもらった後、同じくメブラーナで留学していたキルギス人の友人とルームシェアをしました。トルコでは、日本人にとってはそれなりに安価で広い部屋を借りることができますが、基本的に複数人で住むことが前提で家が作られているので、相手を見つけるまでが難しいことと、見つかったからどう生活上折り合いをつけるかが重要だと思います。なお、大体の家は個室が複数部屋と共用のリビング・キッチンと応接間、トイレ(トルコ式と洋式の2種類)、シャワー室という造りです。

4-2. 食生活について

地域によって異なるのですが、毎週決まった日にパザールが開かれて、安価で新鮮な野菜や果物、肉、魚などを購入できたので、基本的には日本にいた頃と同じように自炊をしていました。米が安く、かつ日本のものと近い品種だったので、持ち込んだ炊飯器でご飯を炊いて、和食がメインでした。但し、たまに外食をしたくなったときは、アンタルヤでは大学内やミグロス(海沿いのショッピングモール)、マークアンタルヤ(県内一のデパート)、カレイチ(旧市街)などでトルコ料理を食べました。特にケパブ系の食べ物やイシュケンベ(羊の内臓のスープ)などが好きだったので、よく食べに行きました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯電話は現地でプリペイド式のものを購入しました。(すべて含め、3000円くらい)また、インターネットは基本的に家で利用、という感じでしたが、街中いたところにwifiがあったので、あまり困りませんでした。なお、家でのインターネット代は光熱費と同じく家賃に含まれていましたが、キルギス人とのルームシェアの期間ではほぼ使えない状態でした。

4-4. 服装について

真夏の暑い頃に渡航したので、冬にかけて北部へ旅行に出かけたこともあり、こまめにデパート等で買っていました。ヨーロッパが近いため、日本では高いブランドものの服もそこまで高くなく、トルコ産の服に関してはとても安いので助かりました。

4-5. 健康管理について

夏に一度風邪を引いたくらいで、健康に過ごしました。恐らく、毎日よく歩いたこと(大学の入り口から学部まで徒歩25分)が関係していると思います。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

渡航してすぐに、イスタンブールでお金をとられてしまったことがあり、OSSMAのお世話になりました。そのほかは、しばしば安否確認に反応できずにいましたが、困るようなことはなかったと思います。

4-7. 課外活動について

留学期間の途中から、学外の語学教室に通うようになり、トルコ語やアラビア語を学びました。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

大きなコミュニティとしては、学外の国際交流サークルに英語教育を専攻する学生に誘われてイベントに出ることがあったことと、トルコに留学する日本人留学生のコミュニティにイスタンブールなどで関わったことがあります。前者では日本文化の紹介などをしましたが、後者ではボアズチ大学やコジャエリ大学の学生と実際に現地を回りながら、交流できた経験が良かったです。

4-9. 日本から持参してよかったもの

味噌、味ぽん、わさび

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

手裏剣などのおもちゃ。(お土産に持ってきたものの、あまりウケがよくなかった。子どもが遊ぶものでしょ?という反応)

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

対人関係はかなり日本と異なると思います。特に敬意の払い方について、日本人は相手と自分の立場の差をつけることで敬意を表しますが、トルコ人は反対に友達のように接することが最大限のマナーだと考えています。そのため、先生も生徒に対して、友人として接しますし、道で会った初対面の人にも旧知の仲のように話すことが多いです。ただ、イスラム教の性質なのか、トルコ人のみの性質なのか、中道的というよりも、何か偏った意見を持つ人が多く(中国は悪い国、など)、意見が似た人同士が最終的には固まるので、教室内においても、民族や経済的な格差でグループが分かれていることが印象的でした。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

国外には出なかつたので、下記はすべてトルコ国内に関する事です。

コンヤ-アンカラ-サフランボル-イズミット-イスタンブール(観光)2014年12月10日間、約2000円
 エディルネ-イスタンブール-ブルサ-チャナッカレ-イズミル-ベルガマ-エフェス-アイドゥン(観光)2015年1月14日間、約30000円
 カッパドキア(観光)2015年2月3日間、母と回つたため、費用負担なし。
 デニズリーエフェス-ボドルム-カシュ(観光)2015年2月4日間、父と回つたため、費用負担なし。
 アンカラ-トラブゾン-ワン(観光)2015年2月5日間、トラブゾンまでは父と観光、以降は約20000円

* 気分転換やストレス発散法など。

休日は勉強したり、友達と遊んだり、語学学校に行ったりして過ごしました。あまり、ストレスは感じなかつた(寧ろ、日本よりものびのび過ごせた)半年あまりでした。

5. 報告 * 5-1~4は、年度末発行の冊子「海外派遣留学報告」の原稿となります。

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

トルコは日本ほど大学の数が多くないこともあり、その代わり非常に面積が広く、設備の充実した大学が多いです。アクデニス
 大学も、学内に商店街があつたり、サッカースタジアムがあつたりとかなり大きな大学でした。学部では医学部が有名な、中堅
 校という感じです。留学生も非常に多く、色々な人と知り合うことが可能な環境が確保されていると思います。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

留学当初、あらかじめトルコ語を学んでこなかつたため、授業も生活も英語を使うことになることを予想していたところ、授業はまさかのすべてがトルコ語。加えて、トルコ人は平均的に日本人よりもさらに英語を話すことができないため、必然的に猛勉強をすることになりました。とは言え、普通のトルコ人学生のクラスに入れていただいたおかげでトルコ人の友人にも恵まれ、最終的にはかなり語学力が伸びたように思います。また、授業以外ではトルコ国内をかなり回りましたが、トルコ語が少し話せることがわかると、どんな人でもかなり仲良くしてくださり、楽しい生活を送ることができました。
 なお、具体的な授業に関しては教育に関する専門科目と外国人留学生向けのトルコ語の授業を受講していました。前者では前述の通りですが、後者では文法上、ヨーロッパからの留学生よりも日本人の我々の方がトルコ語は理解しやすいということもあり、はじめは初級者のクラスにいたものの、途中から上級者のクラスで学ぶことができました。
 また、そのほかに文学部に唯一いらっしゃる日本人の先生が開講している、トルコ人向けの日本語の授業も聴講していました。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

自分自身、ほとんどと言っていいほど、留学に関して特別な準備をしなかったことで、英語圏以外の国ほど、事前にあれこれ不安がることはないと思っています。ただ、ほんの少しだけ語学をあらかじめ齧っておくと、より楽しい生活が送れるかもしれません。

また、留学して最も良かったと思うことに、沢山友達ができて、色々な場所を旅出来たことがあります。1年前、自分には国境を越えて友達はほとんどいなかったし、トルコ語どころか、英語もほとんど忘れていたような有様でした。そんな状態なので、開き直って「日本で一生暮らすので日本語だけ話せばいい」と思っていたのですが、どういうわけか留学する縁が転がり込み、行ってみれば行ってみたいで楽しい体験ができました。

夏の地中海の美しさも冬のトラブゾンの豪雪も、行かなければ知らなかった光景でした。そして、そこで知り合った人と、帰ってきた今でも話せるということが、もっと色々な場所に行きたいと思う原動力になっています。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

英語圏への留学生の多い日本人にとって、中東やアフリカへの留学はとてもイレギュラーなことに思えるのかもしれませんが、どこに行くにしろ、学ぶことは沢山あると感じました。

お疲れ様でした